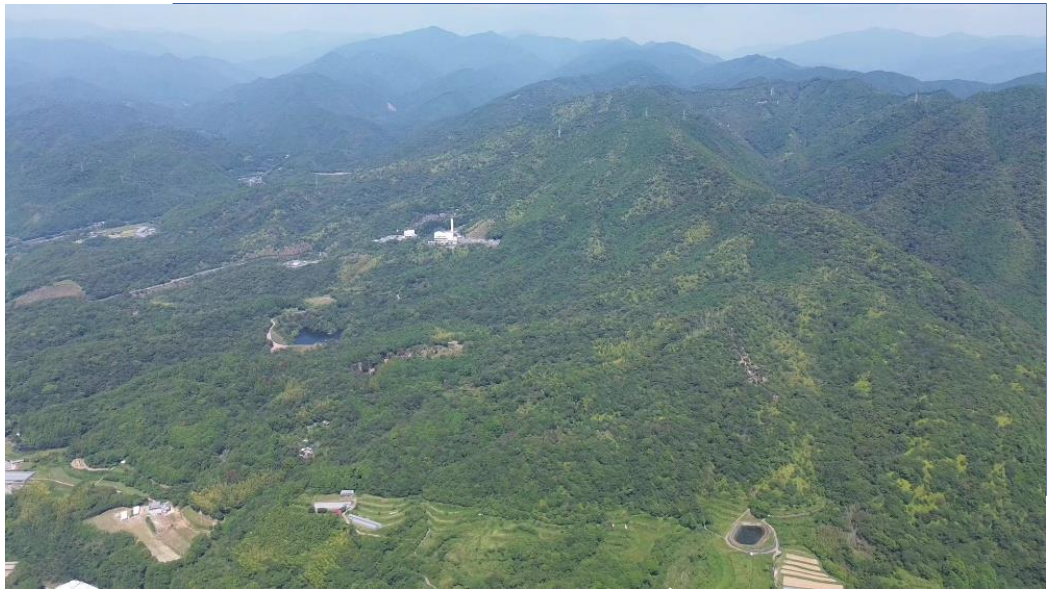
場所　高知県安芸市

面積　85.2ha



活動目的

①保健保安林として人々が癒しを感じる場、レクリエーションの場としての管理、②森林環境教育の場としての活用、③生物多様性保全を目的とする。

サイト概要

本サイトは、高知県安芸市の南東に位置し、森林環境の保全と保健休養に資する緑地として安芸市が管理している森林公園である。利活用を促進し整備管理を行っていくことを『安芸市流域森づくり構想』のアクションプランとして推進している。

本サイトの植生は、シイ・カシ二次林、スギ・ヒノキ・サワラ群落、アカマツ群落、ウラジロ-コシダ群落を主体とし、沢や農業用ため池もある。サイト内を歩くと、森林性の動物等と出会うことも多い。また、本サイトは高知県南東部の生物多様性基盤として、国指定天然記念物のシダ群落を擁する洞窟「伊尾木洞」と一体になっている重要な緑地である。

本サイトの中には東京海上日動、安芸市、高知県、高知東部森林組合による「協働の森パートナーズ協定」に基づき管理・活用している森林も含まれており、東京海上日動関係者による間伐体験ボランティアや、高知東部森林組合と安芸市民等が協働して管理活動を進めている。

土地利用の変遷

本サイトは、近隣に天然記念物の伊尾木洞のシダ群落、内原野公園、大山岬など天然観光資源や施設が多く、近郊の人々を中心に利用されてきた。高知県は1982年に、広く県民が利用するように〝四季の変化を感じつつ気軽に散策ができる公園"として整備し、名称を「東山森林公園」とした。1987年からは安芸市が公園を管理しており、2009年からは「協働の森づくりパートナーズ協定」を結び、企業等と連携した森林環境保全に取り組んでいる。

サイト周辺の環境

本サイトは、国の天然記念物に指定されている伊尾木洞のシダ群落が自生する緑地と隣接している。また、サイト北側に安芸山地、四国山地が連なっており、本サイトは連続した樹林の南端に位置している。サイト南側に土佐湾、西側には安芸平野が近接している。

アピールポイント

・東京海上日動関係者による間伐体験ボランティアが環境学習の機会になっているほか、市民団体が森林浴イベントを開催するなど、森林公園の生態系サービスを積極的に活用していること。
・市街地、集落から近く地域住民が気楽に散策できる憩いの場であること。
・希少な動植物が生息しており生き物の観察対象が豊かなこと。

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

本サイトは文化的サービスと調整サービスが豊かな場である。毎年間伐体験ボランティアを実施しており森林を維持・保全する必要性等を学ぶ機会を提供している。地域の人々が日常的に利用したり、森林浴イベントが開催されるなどレクリエーションの場・癒しの場を提供している。また、土砂流出防備保安林として防災・減災機能を発揮している。

【主な植生】

サイト内の主な植生は、シイ・カシ二次林、アカマツ群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林、ウラジロ-コシダ群落、竹林である。（環境省植生図1/2.5万より）

【確認された主な動植物など】

2024年7月31日～8月1日の現地踏査において、以下を含む25種の鳥類（在来種）を確認した。
【鳥類】カイツブリ、キジバト、アオバト、アマツバメ、トビ、コゲラ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメヒヨドリ、ウグイス、メジロ、イソヒヨドリ、キビタキ、イカル、ホオジロ

補足情報として、東山森林公園の整備時の資料(1982年)に、以下の鳥類と哺乳類の記載がある。
【鳥類】トビ、コジュケイ、キジバト、アオゲラ、キセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、スズメ、カケス、カラス、タヒバリ、ジョウビタキ、ツグミ
【哺乳類】イノシシ、ノウサギ、タヌキ、イタチ類、ネズミ類

動植物情報は今後も収集・整理し、モニタリング調査も行い、充実させる方針である。



写真の説明：間伐体験ボランティアの活動の様子



写真の説明：森林浴イベントの様子

生物多様性の価値

価値（9）既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場

【場の概況】

本サイトの西側に国の天然記念物「伊尾木洞のシダ群落」がある。本サイトは当該天然記念物のシダ群落生育地と隣接している。

【主な植生】

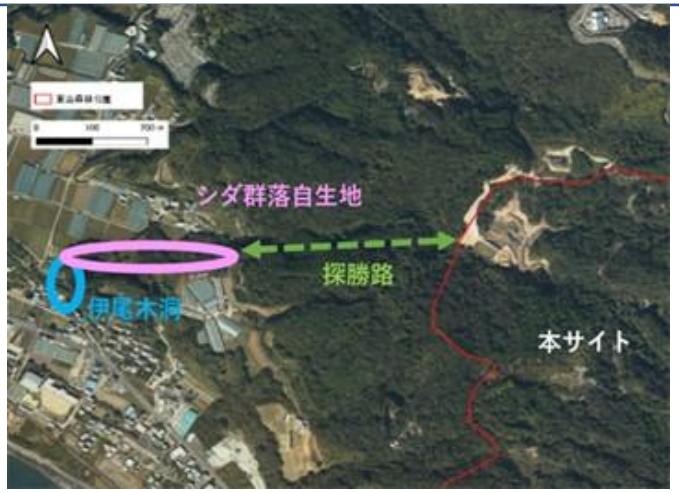
本サイトにおける伊尾木洞のシダ群落自生地と接するエリアの植生はシイ・カシ二次林である（環境省植生図1/2.5万より）。
天然記念物に指定されているシダ群落の周囲の主な植生はシイ・カシ二次林である（環境省植生図1/2.5万より）。シダ群落には、シロヤマゼンマイ、ホウビシダ、クリハラン、コモチシダ、ノコギリシダ、マツザカシダ、ハゴロモシダ、オオバノイノモトソウ、ホウライシダなど40種以上のシダ類が自生している。

【隣接・接続する保護地域等】

伊尾木洞のシダ群落（国の天然記念物）

【緩衝機能や連続性・連結性の機能】

本サイトからシダ群落自生地まで連続したシイ・カシ二次林であること、本サイト内で涵養した水がため池から伊尾木洞に向かって流れていることから、本サイトの樹林は天然記念物のシダ類に適当な温度と湿度を安定的に保つことに寄与している。



写真の説明：本サイトと一体的に利用されている天然記念物の位置関係



写真の説明：水源を涵養するサイト内の樹林

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容

【維持管理活動】
主な維持管理は、安芸市と高知東部森林組合が連携し、下草刈、遊歩道整備、林道周辺の草刈、間伐、トイレ掃除を実施している。特に間伐については、東京海上日動のグループ会社を含む社員やその家族がボランティアで参加している。

【活用活動】
東京海上日動による間伐ボランティアは、森林を保全する必要性を学ぶことができる環境教育の機会にもなっている。本サイトは保健保安林として地域の方々に利用されているほか、市民団体が森林浴イベントを開催するなど、レクリエーションの場としても活用している。
今後は、従来の活動に加え「安芸市流域森づくり構想」※で計画しているように、生物多様性保全に取り組むとともに、癒しの場、教育の場としての活用を強化する方針である。

※「安芸市流域森づくり構想：BLUE FOREST, BLUE OCEAN 」は、川の源流域から太平洋に水が流れる河口までの環境がある安芸市において、多様な水辺環境が豊かな森林を育み、多様な産業をもたらしていることをふまえ、生物多様性保全と産業の振興を目指した行政計画である。
詳細はリンク先参照：
https://www.city.aki.kochi.jp/file/akiryuikimoridukurikoso.pdf

モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】
本サイトは「安芸市流域森づくり構想」に基づき生物多様性保全に取り組む方針である。詳細は検討中であるが、現時点では植物相、鳥類相、哺乳類相を対象とする方向である。

【モニタリング場所】
本サイトは「安芸市流域森づくり構想」に基づき生物多様性保全に取り組む方針である。ただし、今年度安芸市が公園利用促進に向け「安芸市東山森林公園リニューアル計画」を策定中であり、具体的調査地点は今後設定する。

【モニタリング手法】
現時点では以下の手法を検討している。
【植物相】サイト内の環境や植生区分ごとにくまなく踏査
【鳥類相】ラインセンサス、任意踏査（直接観察法）
【哺乳類相】：無人撮影法

【モニタリングの実施時期及び頻度】
【植物相】調査年の4～5月に1回、5年に1回程度
【鳥類相】調査年の繁殖期と越冬期に各1回、5年に1回程度
【哺乳類相】通年、安芸市と高知東部森林組合が協議のうえ随時

【モニタリング実施体制】
植物相と鳥類相は専門家へ委託し、哺乳類相は安芸市と高知東部森林組合が協議、連携して実施する。